

HALELANI TERRACE PRESENTS

SLACK KEY MONDAY VOL.1

魔法のスイッチ Pau～

ハワイ語で Pau=「おしまい」の意味 Pau hana =仕事おしまい！ Pau pilikia=心配事おしまい！

ハワイアン ミュージシャンの多くは音楽以外に仕事を持っている方が多くいらっしゃいます。

彼らは 仕事が終わった毎 そして週末に スイッチを切り替えて ミュージシャンになります。

これは 自分をリセットする事 それから始まる豊かな時間、これがハワイのスタイル。

今回ご紹介させていただく 山内アラニ雄喜さんは 日本でご家業を継ぎつつ 長年にわたって
トッププレイヤー ライター として活躍されてきました。それは「Pau hana」と時間を切り替えて
いつもご自身をリセットされてきたから

山内さんから紡ぎだされた音楽は日本国内 ハワイはもちろん
ライ・クーダー ジョージ・ウインストン 等世界のミュージシャンからも高い評価を受けています。

「Pau hana」「Pau pilikia」と 魔法のリセットボタンを押してハレラニテラスへおこしてください。
楽しい時間とともに 自然と本来の自分が現れます。



山内雄喜

1948年7月20日

東京出身 レコード ラジオで聞いたハワイアン音楽に興味をもち 中学時代にスチールギターを弾き始める。

大学に入ると独学でスラック・キー・ギター（以下 SKG）を始める。

大学卒業後 SKG を習いにハワイに渡る。

当時 当初ギャビー・パヒヌイに師事しようとしたが 彼がつかまらなかったため他の SKG プレーヤーをたずね歩き
最終的にレイ・カーネに弟子入りする。「レイ・カーネの最初の弟子になる」

（※なかなかハワイ人以外それも親族以外は習うことさえ難しいとされた中で 奇跡的であった。）

弟弟子に日系ハワイ人のオジー・コタニがいる。）

ハワイ滞在中は ギャビー・パヒヌイ レイ・カーネ サニー・チリングワース アッタ・アイアザックス
アリス・ナマケルア等とも共演を果たす。

帰国後パイナップル・シュガー・ハワイアンバンドを結成 アルバムをリリース デビット・リンドレー
ライクーダー等から高い評価を受ける。

ご家業を継ぎながら ミュージシャンとしてハワイアンライターとして活躍。アルバム 著作物は 評価が高い。
現在ライブ活動とともに ハワイアン・ミュージシャンの育成にもあたっている。